

安全安心 景観 官民協働

やまなかみなみ

# 山中南地区

(石川県加賀市)

第1回まち交大賞(部門賞 テーマ賞)受賞

- 計画期間 平成17年度～平成21年度
- 面積 65ha
- 交付対象事業費 466百万円
- 市人口 63,830人

**ポイント** 豊かな自然と文化の薫りを活かした、心身ともに安らげる湯の街の活性化。

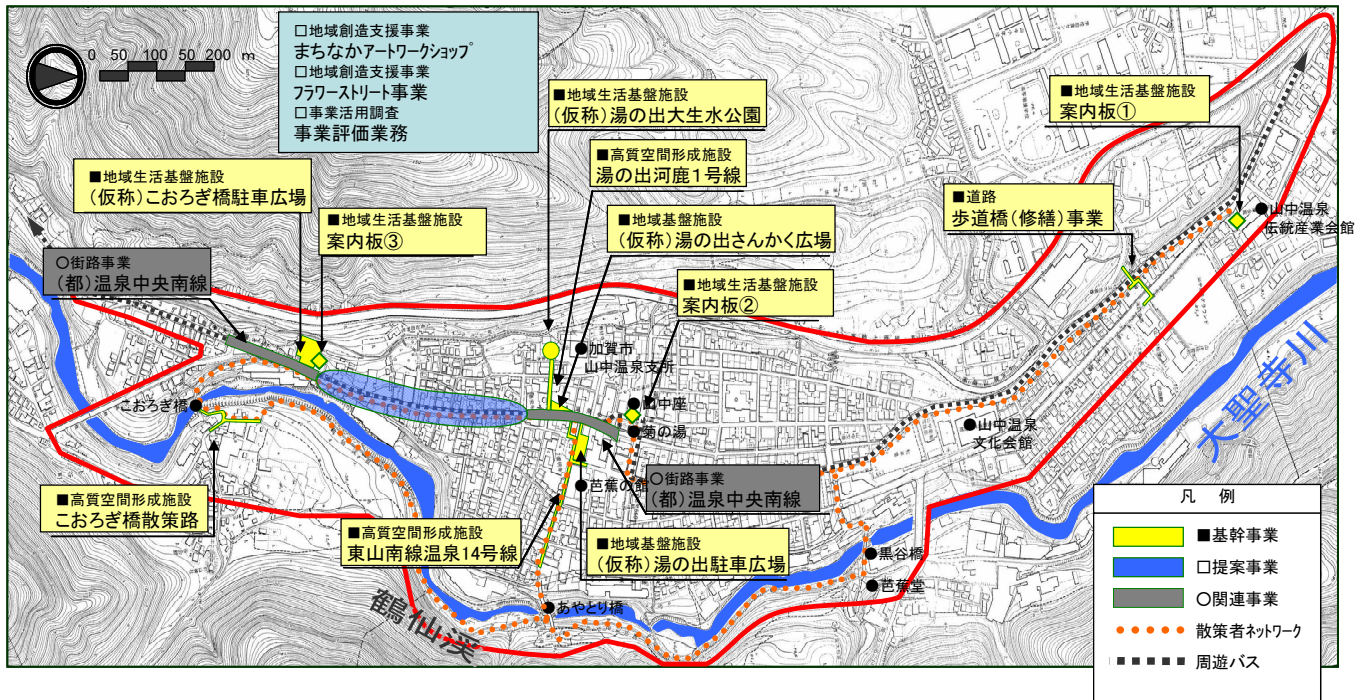
**地区概要** 「人に優しい安全・安心なまちづくり」、「住む人が楽しみ・誇れる環境整備」、「来街者の再訪促進(ファンづくり)」の3点を基本に、広場整備等の基幹事業と一体的に宿泊客がまちなかを散策できる仕組みを整備することにより、誰もが気楽に楽しめる温泉町づくりを実現し、街中の賑わいの再生を図る。

**目標** 街なかへの自動車の流入を抑制し、公共交通を中心とした人に優しい安全・安心な街づくりを進める。自然、歴史、伝統、文化などの普遍的な地域資源をネットワークするなど、来街者の再訪を促すとともに、住む人が街を楽しみ・誇れる環境を整える。

**指標** コミュニティバス利用者数を指標とすることによって、安全・安心な交通環境の形成に対し、官民協働の取り組みとして具体的な方向性を与えている。散策路整備や個店の魅力向上などによって回遊需要を喚起するため、住民・事業者が主体となったソフト面の活動展開について合意形成を図っており、住民にも分かりやすい指標として、日帰り観光客数や共同浴場の入館者数を設定・公表している。

|                 |                |   |                |
|-----------------|----------------|---|----------------|
| コミュニティバスの利用者    | 50,800人 (H15)  | → | 55,000人 (H21)  |
| 観光客数            | 528,000人 (H15) | → | 540,000人 (H21) |
| まち中の滞在ポイントの利用者数 | 78,300人 (H15)  | → | 80,000人 (H21)  |

**事業内容** 基幹事業 (450百万円) → 道路修繕(延長110m)、広場(4カ所1,902㎡)、道路修景(延長443m)、散策案内板3箇所  
 提案事業 (16百万円) → フラワーストリート事業、ワークショップ開催、事業効果分析業務



完了地区 石川県

## 地区の現況と課題

開湯 1300 年の歴史を有する山中温泉の中心部（総湯）を含む計画地は、大聖寺川沿いに広がる鶴仙溪（溪谷）と、その南端にあるおろぎ橋、無限庵、北側のあやとり橋、さらに山中座など、守り、育てるに相応しい個性的な自然、伝統文化といった地域資源を有する。市街地は、南北方向の幹線道路に細街路が東西方向に連絡する形で形成され、生活道路が来街者の観光ルートとして利用されている。鶴仙溪には豊かな自然美を堪能できる遊歩道が整備されているほか、目抜き通りの（都）温泉中央南線の南町商店街の区間では、拡幅に伴う街並み修景とそぞろ歩きが楽しめる歩道が整備されている。しかし、これらをつなぎ、連続性・回遊性を確保した歩行者ネットワークは整備されておらず、豊かな地域資源を擁しながらも、これらを十分に活かすことが出来ない状況にある。

## 提案事業の特徴

### ストリートフラワー（花オブジェ等設置）事業

本物志向や学習・創造的活動への関心の高まりといった、人々の価値観の変化にも対応するため、街なか演出として住民参画を基本とした花の演出による回遊需要の喚起を図るハンギングバスケットおよび花オブジェの制作を行う。

### 交流イベント事業（街なかアートワークショップ）

「中心市街地の活性化を図るために必要な住民参画の一環として、さらに、住民主体のまちづくり活動の促進を目的とし、街角アートギャラリー事業の作品制作者と住民、来街者等が交流する作品制作ワークショップ等のイベントを開催する。」

## 計画策定プロセス

### ワークショップの開催

住民などによって「まちづくり協議会」が設立され、ゆげ街道を中心とした街並み修景および道すじ整備などの検討および活性化事業の調整が行われている。現在は、湯の出町を中心に検討が進められており、学識経験者（金沢工業大学、金沢美術工芸大学、金沢学院大学）、県・市および地区住民などから構成される検討会議は、平成 16 年度に 10 回、平成 17 年度に 5 回開催（継続中）されている。

### 継続的な市民の取り組み

ソフト面のまちづくり活動においても、「1店舗2業種の店づくり」や「商店のギャラリー併設」、「空き店舗を活用した体験どころ（伝統工芸・芸能体験）」の取り組みなど、住民・事業者が主体となった独自の活性化策が展開されている。



▲ 鶴仙溪（左上）と総湯（右下）



▲ 地区内の文学碑（提案事業で修景）



▲ 検討会議の様子



▲ 人々で賑わう修景された街並み



▲ 地域が主体となった活性化策の展開